



赤城南面 千本桜まつり

第25回全国都市緑化ぐんまフェア●前橋市1年前記念イベント
平成十九年

平成十九年四月六日(金)・十九日(ホ)

※開花状況により、臨断する場合もあります。

第一回
赤城南面千本桜
フォトコンテスト開催

戦後、荒廃したこの地に
植えた千四百本の桜

前橋市宮城地区は、名峰赤城山の南麓中央に位置する緑豊かな地域です。しかし、今から六十一年程前の第二次世界大戦中、航空燃料や食料の自給のため、多くの木々が倒され、貴重な自然環境が広範囲に破壊されてしまいました。昭和三十一年、その荒廃した山林に豊かな緑を復活させるため、地域の人々が一丸となり、赤城山に向かつて緩やかに延びる道路の両側に、昭和三十三年までの三年間にソメイヨシノの苗木を植えました。桜は赤城南面開拓道路、現在の国道三五三号線から忠治温泉までの三・五キロメートルの市道沿いに千四百本が植栽されました。



みやぎ千本桜の森での桜の苗木の植栽作業風景

- 園内に植えられている桜
- 河津桜(カワヅザクラ)
 - 淡墨桜(ウスミザクラ)
 - 大島桜(オオシマザクラ)
 - 染井吉野(ソメイヨシノ)
 - 陽光(ヨウコウ)
 - 山桜(ヤマザクラ)
 - 大山桜(オオヤマザクラ)
 - 紅山桜(ベニヤマザクラ)
 - 紅雲(ベニクモ)
 - 関山(カンザン)
 - 音覧雀(フゲンソウ)
 - 枝垂桜(シダレザクラ)

「新たな桜の名所づくり
みやぎ千本桜の森」

毎年、見事な花で私たちを楽しませてくれる赤城南面千本桜は、平成二年、財団法人みやぎの会、日本さくら会、日本さくら名所見聞にも選ばれ、前橋市を代表する桜の名所として毎年多くの観光客で賑わっています。しかし、ソメイヨシノ種は他の品種より比較寿命が短いとも言われ、赤城南面千本桜も老齢期にさしかかっているため、将来にわたってこの地をさくらの名所として継承するため、赤城南面千本桜に隣接して、みやぎ千本桜の森を平成十三年から整備してきました。千本桜の森には、CO2タイエツト宣言実行委員会から寄贈された山桜、ヤマザクラ、白木のほか、千本桜と千本桜の森を市民の手で育てようとして、みやぎ校守の会、櫻井敏道会長(二)の皆さんが、ソメイヨシノ種は他の品種より比較寿命が短いとも言われ、赤城南面千本桜も老齢期にさしかかっているため、将来にわたってこの地をさくらの名所として継承するため、赤城南面千本桜に隣接して、みやぎ千本桜の森を平成十三年から整備してきました。



ここ千本桜では
眼下に街の灯が輝き
見上げれば宵闇にほんわりと照らされる
夜桜にうつとり。ライトアップは夜9時まで楽しめます。

赤城南面千本桜に関する問い合わせ
(財)前橋観光コンベンション協会 宮城支部
TEL.027-283-2131 <http://www.hurusato-miyagi.jp>

桜まつり広場マップ&イベント情報

全国都市緑化ぐんまフェア1年前プレイベント記念式典

2007.4月15日(日)
●みやぎ千本桜の森 イベントステージ

とんとん汁	12:30~	まえばしLonton汁の配布(数に限定あり)
呼び込み太鼓	13:30~	上州みやぎ和太鼓桜吹雪
開会セレモニー 記念植樹	13:35~	
郷土芸能	14:30~	上州みやぎ和太鼓桜吹雪(和太鼓演奏) みやぎ桜の舞(よさこい踊り) 華八木会(八木節)
苗木配布	15:15~	500本の苗木プレゼント (ヤマボウシ・ヤマザクラ・サルスベリ・キンモクセイ・サツキ)



下の2つの絵のまちはいはい、いくつあててしよう?
間違いの数をお答え下さい。
応募はインターネットかハガキで。
抽選で100名様に「四季の赤城山」または「花めぐり」のポストカードセットをプレゼント!
インターネットでの応募は、
<http://www.hurusato-miyagi.jp>にアクセス。
ハガキの場合は、
〒371-0244 前橋市奥毛石町1426-3
(財)前橋観光コンベンション協会宮城支部まで。
締切は5月1日。

●お問い合わせ
赤城南面千本桜まつり実行委員会
Tel.027-283-2131

赤城南麓よもやま話 千人塚の 黄金伝説

三夜沢から赤城温泉方面に向かい、荒砥川を越した辺り、一帯を東沢地元ではヒガツツツツと言います。神社の東を流れる川の源であり、その川は、赤城山の山麓から、今から二万五千年位前、赤城山の噴火で流れた溶岩、荒山溶岩流、安山岩が凝固した物と推定されています。その石は、赤城小松と称され珍重されているとの事であり、橋を越し直線道路を登っていくと、左に千石石の採石場があり、さらに登ると大野工業の採石場があります。その入り口付近に、小高い尖った岩山があり、今も取り残されて跡形もありません。そこを、千人塚と云う土地の古者は呼んでいました。何時代の時代か定かではありませんが、大昔この辺りで台戦があり、その戦死者千を埋葬し、その石が、付いたと云う。史実? 伝説であります。そして、その山には黄金が隠されていると云う。



の硬い岩山、皆断念したらしいです。その当時、赤城山のさかしで宝探しが流行りました。箱川の上流、鏡子の伽藍や小沼周辺で、ある人は自分で地をたがへ落ちて、うろつたという話もあります。今から十一年位前、時の村長、松山重司さんが、湯の沢の近く、に屏風岩で、言う所は無い、と尋ねられました。何ですかと尋ねた、ある人が村長室に来て、そこにおが隠されていると真剣に言っているの、と云う事です。村長もかなりその話に乗り気でした。

「屏風岩と称する所は、そり立つ岩山を屏風に立ててあり、さういふ調子で、金剛寺の志田和尚が持っていた、国史図書館所蔵、徳川幕府制作、徳川幕府の復刻版の中に、前橋島三夜沢、宿の平、朝の湯、湯の沢、屏風岩等々記載されていました。そこは獅子ヶ鼻と称された、湯の沢街道一の難所の対岸でした。そんな所にお宝なんかありませんよ!!」